



学校通信 医生丘小だより

令和5年度 第11号 R5.8.24

北九州市立医生丘小学校

校長 大成 清徳

前期後半スタート!!

実らせよう！夏休みの頑張りの成果

◎長いようで短かった夏休みが終わり、今日から学校生活が始まりました。この夏は、30度を超える真夏日が続き、熱中症を防ぐため屋外での活動も制限される日々でした。加えて、人流が戻ってきたことから各地でコロナウイルス感染症流行の兆しが見られ、里帰りや家族旅行等も見合わせるご家庭もあったのではないのでしょうか。そのような情勢の中、今日は児童のみなさんが元気に登校してくる姿を見て、安心しました。きっと、自分なりの目標を達成して、充実した34日間を過ごすことができたことでしょう。その成果を、大いに発揮してほしいものです。

「平和な時代」を守り、伝えよう

八幡大空襲78年 続く祈り

小伊藤山公園で慰霊祭 犠牲者悼む

戦後78年

○夏休みに入る前日、全校放送で1945年8月8日に旧八幡市を襲った

八幡大空襲についてお話ししました。戦争に必要な鉄を作る八幡製鉄所があったため、何度も空襲を受けていた八幡の町では、この日の空襲だけで約2500人が死傷し、約1万4千戸の住宅が焼け落ちました。空襲を体験された村田さち子さんは「戦争のない時代が100年でも200年でも続いてほしい」という願いから、現在も戦争の記憶を若い人たちに語り続けています。

8月9日の西日本新聞に、八幡大空襲で犠牲になった方を悼む慰霊祭についての記事が掲載されていました。被災者への聞き取りに取り組む市民団体が主催し、地元の看護学校や大学に通う学生が、犠牲者の名前を静かに読み上げて平和を守る誓いを新たにしたいとのことです。



八幡大空襲の慰霊祭で、慰霊塔の前で犠牲者の名前を読み上げる学生たち

○広島では、毎年原爆が投下された8月6日に平和記念式典が開かれています。今日の全校放送で、今年の式典で小学6年生が読み上げた「平和の誓い」を紹介しました。戦争を知る世代が少なくなり、悲惨な体験を聞く機会が失われつつある現代、平和のバトンを未来へつなぐために必要なことは何かを考えさせられます。

○みなさんにとって「平和」とは何ですか。争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。身近なところにも、たくさんの平和があります。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と叫び続ける母親。たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のみちは破壊され、悲しみで埋め尽くされました。「なぜ、自分は生き残ったのか。」仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、生きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

あれから78年が経ちました。今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。「生き残ってくれてありがとう。」命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。私たちにもできることがあります。自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友だちのよいところを見つけること。みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。今、平和への思いを一つにするときです。被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。

令和5年8月6日 ことば代表 広島市立牛田小学校6年 勝岡英玲奈・広島市立五日市東小学校6年 米広朋留

自分で育てよう！心の中にある「共感する力」

○田上富久前長崎市長は、若い世代への「平和のバトン」の渡し方について、次のように語っています。「原爆の被害を受けた長崎市では、若い世代に戦争や原爆の被害を伝えるときに、いきなり戦時中の惨状から始めるのではなく、まず家族の日常生活や子どもたちの笑顔の写真などを見てもらい、その後に惨状を示して、戦争がいかに幸せな日常を破壊するか、というストーリーにすることが増えてきました。そうすることで『共感への入り口』をつくることができるからです。以前のように、年齢が上の世代が下の世代に教えるという一方通行ではなく、テーマによっては、お互いに教え合うことや、任せること、聴くことが大切になっています。」

私たち人類が20万年以上前に誕生して以来、今日まで生き延びてこられた要因の一つが「共感する力」と言われています。これは、人間のもつ特殊な能力で、他人が痛い目にあっているのを目撃すると、自分の体が痛めつけられたように顔をしかめるのは人間とチンパンジーだけだそうです。一人一人が、自分の中にある「共感する力」を育てることが、平和を守り、良好な人間関係を築くことにつながるのではないのでしょうか。

人工芝寄贈のお礼

雨の日も安心です。ありがとうございました。

○この度、児童が安心安全な学校生活を送ることができるようにとのご配慮より、父母教師会の会員の皆様が納めていただいている会費から、人工芝を寄贈していただきました。右側は、西棟1階入口のスロープに敷くもので、長さが短かったため、人工芝のない斜面が雨天時は大変滑りやすく、1年生が給食の食缶などを運ぶ際に気を付けて歩かなければならなかった所です。左側の写真は、同じく1年生の下足置き場前で、雨天時は外で下靴を脱いで来るため、靴下が濡れてしまっていました。人工芝を敷くことで、下足置き場まで下靴で上がり、履き替えることができるようになりました。ご賛同いただいた田中裕三会長様はじめ、保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



○この度、児童が安心安全な学校生活を送ることができるようにとのご配慮より、父母教師会の会員の皆様が納めていただいている会費から、人工芝を寄贈していただきました。右側は、西棟1階入口のスロープに敷くもので、長さが短かったため、人工芝のない斜面が雨天時は大変滑りやすく、1年生が給食の食缶などを運ぶ際に気を付けて歩かなければならなかった所です。左側の写真は、同じく1年生の下足置き場前で、雨天時は外で下靴を脱いで来るため、靴下が濡れてしまっていました。人工芝を敷くことで、下足置き場まで下靴で上がり、履き替えることができるようになりました。ご賛同いただいた田中裕三会長様はじめ、保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

まだまだ暑い日が続いています。栄養と睡眠、水分をしっかりとり、外では帽子をかぶり、熱中症予防に努めましょう。



○4月から現在までのお子様の様子や学校の教育活動について、保護者の皆様をお願いをしていましたアンケートへの回答、ありがとうございました。集計結果は、次回紙上にてご報告させていただきます。皆様からの回答を基に、成果と課題を分析し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《8・9月の主な予定》



24日(木)・25日(金) 午前中授業 ※11時45分頃下校予定

28日(月) 午前中授業・シェイクアウト訓練

29日(火) 給食開始、5時間授業

30日(水)・31日(木) 5時間授業

29日～31日:「家庭学習がんばり週間」※14時45分頃下校予定

30日(水)【3年】国際交流授業

31日(木)【2年】国際交流授業 【3年】消防士さんといっしょ

5日(火) 委員会活動

6日(水)・20日(水) 朝の読み聞かせ

13日(水) 2校時:学習参観(人権学習)

【4年】プログラミング出前授業

15日(金)【5年】リモート社会科見学

18日(月) 敬老の日

19日(火) クラブ活動

20日(水)【4年】防災教育授業

21日(水) 前期終業式 給食あり

22日(金)～25日(月) 秋季休業日

26日(火) 後期始業式 給食あり

